

地域安全ニュース

令和 8年 1月 5日発行

発 行 四街道市防犯協会
事務局 安全安心ステーション
T E L 043-422-2191

迎春

新しい年は丙午(ひのえ・うま)年、勢いとエネルギーに満ちて活動的になる年、「丙」は、「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。「午」は、古くから人間とともに生きてきた動物で駿足を持ち独立心が強く、また人を助けてくれる存在でもあります。

市民の皆様にとって、熱量や勢いに満ちた年、動くことだけでなく「整えること」も意識してより良い年になることを願うとともに「安全で安心な街・四街道」にしていきたいと思います。

丙午年

みんなでつくる“安心の一年”に向けて



四街道市
防犯協会会長
四街道市長
鈴木 陽介

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素より、本市の防犯施策ならびに四街道市防犯協会の活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、地域でのパトロールや通学路における児童生徒の見守り活動など、日々ご尽力をいただいております皆様お一人おひとりに、心より感謝申し上げます。

近年、闇バイトによる凶悪事件や巧妙化した特殊詐欺が全国的に頻発し、昨年は県内の「電話de詐欺」被害額が過去最高を更新するなど、地域の安全を取り巻く環境は、厳しい状況が続いています。

こうした中、本市と四街道市防犯協会は四街道警察署と緊密に連携し、防犯意識の向上に向けた啓発活動を進めるとともに、65歳以上の方を対象とした詐欺防止機能付き固定電話機等の購入補助や、一定期間実施した防犯カメラ等の設置補助など、地域の安全確保に資する実効性ある施策を展開してまいりました。

本年も、行政と防犯協会が一体となり、警察や関係団体と協力しながら、「安全で安心して暮らせるまち」の実現に向けて、取り組みをさらに推進してまいります。

加えて、防犯の要は、地域に暮らす市民の皆様の手です。日常の何気ない声掛けや見守り、小さな気づきと行動こそが、重大な犯罪を未然に防ぐ大きな力となります。引き続き、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで実り多い一年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

明けましておめでとうございます



四街道市
防犯協会顧問
四街道警察署長
中山 智宏

四街道市民の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素から警察業務各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年中における四街道市の犯罪情勢につきましては、市民の皆様や関係機関・団体の御協力のおかげで、刑法犯認知件数は、一昨年に引き続き減少しました。

しかしながら、電話de詐欺につきましては、被害額こそ減少しましたが、警察官などをかたった犯罪加担名目のオレオレ詐欺が急増し、その手口も携帯電話への着信や国際電話、インターネットバンキングの犯罪利用など、悪質・巧妙化が進んでおります。

警察といたしましては、これらの状況を踏まえ、詐欺被害防止に効果のある、在宅中の留守番電話設定や国際電話着信ブロックを浸透させるため、あらゆる機会、広報媒体を活用し、タイムリーな情報発信に取り組んでいるほか、金融機関やコンビニエンスストアなどの関係機関・団体との連携を一層強化し、積極的な声かけによる詐欺被害の未然防止に取り組んでいます。

また、当署は、昨年11月、四街道市と多文化共生に関する覚書を締結致しました。

この協定は、外国人市民と日本人市民が、地域社会の一員として支えあう多文化共生社会の実現を目指して、四街道市と四街道警察署が相互に連携してその活動に取り組むことを目的としており、当署と致しましては、文化や生活習慣の違いに配慮しつつ、外国人市民の防犯パトロール

などへの参加など、防犯対策においても多文化共生が浸透できるよう警察活動を推進してまいります。

本年も四街道市民の安全安心を実感できるくらしの実現に向けて、署員一丸となって各種警察活動を推進してまいりますので、引き続き皆様方の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって明るく素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



四街道市
市民安全パトロール隊
隊長 中山 敏栄

明けましておめでとうございます

平素は市民安全パトロール隊の活動に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市民の安全・安心の見守り役として、子供たちや地域の安全のために青パトで巡回パトロールをしています。青パトは四街道市に5台配置され、市内5つの中学校区に分かれて活動しています。四街道市民安全パトロール隊は結成から20年目を迎えました。ボランティアによる活動とはいえ、活動の重要性を考えると継続していくことに責任を感じています。

四街道市内の一番多い犯罪は自転車の盗難です。それも未施錠の場合が7割以上になるそうです。“直ぐに戻るから”“面倒だからつい”の心のスキが犯罪につながるのです。近年の犯罪は手口がますます巧妙になり、集団化して組織的になっています。空き巣狙いや強盗などの犯罪は凶悪になってきています。特に多くなっている「電話de詐欺」は固定電話だけでなく、携帯電話にもかかってきます。高齢者は特に注意が必要です。また、子供を狙った犯罪を未然に防ぐ取り組みの重要性はますます高まっています。

防犯には、隣近所のお互いの呼びかけ、声掛けが大事です。また、防犯の取り組みについて家族で話し合い、習慣化することも大切な事です。

個々人の防犯への意識を高めることが市内の犯罪の減少になり、更には青少年健全育成にも繋がると信じています。安全・安心な四街道市になるように、そして住み良い街になるようお互いに頑張っていきたいと思います。

結びに、本年が皆様にとって明るく穏やかな年になりますようご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

四街道市民安全パトロール隊員表彰式

多年にわたり防犯思想の普及高揚、地域における犯罪の防止に尽力された市民安全パトロール隊員の皆様に感謝の意を表し、感謝状を贈呈しました。

- 1 日時 令和7年11月20日(木)15:30～16:30
- 2 場所 四街道市役所3階特別会議室
- 3 受賞者

○千代田中学校区 大崎 利吉様
青池 勉様 飯村 富男様 三森 敏秀様
大場 幸家様 谷川 龍助様 向井 寛様

○西中学校区 竹尾 公志様 鈴木 康之様 秋山 博幸様
○北中学校区 半谷 日出夫様 植草 史郎様 緒方 良弘様
○旭中学校区 井上 綱恵様

- 4 来賓 四街道警察署長 中山 智宏様
四街道市議会議長 関根 登志夫様

- 5 出席者 市長、四街道警察署生活安全課長
地域共創部長、市くらし安全交通課5人、市防犯協会1人



受賞おめでとうございます

「2025地域防犯ボランティア県民大会」にて表彰

- 1 日時 令和7年10月15日(水)13:30～16:00
- 2 場所 千葉県青葉の森公園芸術文化ホール
- 3 主催 公益社団法人千葉県防犯協会 千葉県
千葉県少年警察ボランティア協議会 千葉県警察

- 4 防犯功労表彰

防犯功労者 積田 雅和様

(四街道警察署管内少年警察ボランティア連絡会副会長)

防犯功労団体 旭ヶ丘青色パトロール隊

(代表者 高久 勝美様)

- 5 四街道市内の参加者

旭ヶ丘地区市民安全パトロール隊員2人

四街道警察署管内少年警察ボランティア連絡会1人

四街道警察署警察官1人

市防犯協会3人

市くらし安全交通課2人



電話de詐欺被害防止キャンペーン参加

日時:令和7年10月22日(水)10:30～11:10
場所:JR四街道駅改札口自由通路、千葉銀行、京葉銀行

参加者:四街道警察署警察官8人、旭会1人、
四街道警察署警友会8人、市防犯協会2人

内容:駅利用者・銀行利用者にチラシ等を配布し、国際電話の着信拒否設定など被害防止対策の実施を呼び掛けた。



「櫻ヶ丘神社・区民秋祭り」に青パト参加

日時:令和7年10月19日(日)9:00～13:30

場所:櫻ヶ丘神社、桜ヶ丘会館秋祭り会場及び桜ヶ丘区内

内容:神輿・子ども山車・子ども神輿の交通誘導と防犯パトロール

「旭ヶ丘オータムフェスティバル2025」に青パト参加

日時:令和7年10月25日(土)10:00～11:00及び12:00～15:00

場所:旭ヶ丘自治会館オータムフェスティバル会場

内容:防犯パトロールと青パト展示、青パト試乗体験、防犯ビデオ上映、写真展示、防犯啓発用おもしろ消しゴムの配布

年末年始特別警戒取り締まり出動式参加

日時:令和7年12月19日(金)15:00～16:00

場所:JR四街道駅北口広場

参加者:四街道警察署長、四街道副市長、関係する組織・団体・企業・商店・自治会及び市内パトロール団体、総数約80人

内容:警察署長挨拶、副市長による市長挨拶代読、四街道市国際交流協会代表挨拶の後、警察車両と青パトがパトロールに出動。その後、参加者により駅改札口、銀行、駅前ロータリーにおいて防犯・交通安全の啓発物の配布が行われた。



一人との接し方を見つめ直してみませんか

四街道市防犯協会(市くらし安全交通課係長)矢作修一

地域で暮らしていると、日々の挨拶や、ちょっとした声かけが、思いがけず大きな安心につながることがあります。最近では、人との距離感やコミュニケーションの取り方について、世代や環境によって感じ方が大きく違ふと実感する場面も増えてきました。

そんな中で、地域で気持ちよく過ごすためには、お互いに「ちょうどよい距離感」を大切にすることが欠かせないと感じています。たとえば、『相手の生活に踏み込みすぎない』『初めて会う方にも安心してもらえる言葉遣い』『年齢や性別で決めつけず、丁寧に接する』『気になることを伝えるときも、落ち着いた声で』といった、ささやかな思いやりです。

防犯協会の活動でも、市民のみなさんと接する中で、こうした小さな心がけが、地域の安心に確かに結びついていると感じます。私も身も、地域の一人として、「相手の立場に立つ接し方」をこれからも大切にしていけたら良いなと思っています。

地域に暮らす一人ひとりのさりげない優しさが、四街道市の大きな安心につながっていきます。これからも、「みんなに優しい街」を目指して、思いやりのある地域づくりを進めていけたら嬉しいですね。